

4月25日(土)第5回奈良便教会を御所市立御所小学校で開催させていただきました。卒業生を3名含む7名でしました。トイレ掃除をするとすると、「参加したい!」と返事0.2秒で答える中学生にはびっくりです。「気持ちをスッキリしたい」と参加の理由を述べていました。

【美しいこと】

温かい空気のもと開始しました。みなさんの表情が温かく心地の良い空気です。開始と同時にスイッチがオンになり、便器を磨かれる音だけが響いていました。私自身は、手洗い場を中心にしたのですが、美しいとは、このことだと感じました。何かに無心になり黙々と取り組む。その中に美しさが存在します。一所懸命取り組む姿勢からも美しさを感じるかもしれませんが、その場の空気だけをとっても美しさを感じることがあるのではないかという感覚を持ちました。そんな空気の中にいるだけで心が磨かれているような気が致します。

【スイッチのオン・オフ】

一つのこと集中すること。今日は久しぶりに無心になって取り組むことができました。普段なかなか一つのことに取り組めていなかったなあという感想です。何かを言い訳にしたり、できない理由をつくったり、そんな自分に気がつきました。みなさんのスイッチの切り替えから感じられたことです。スイッチを押すと音が鳴ったかのようなくらいメリハリのある時間でした。その中を共有させていただくからこそ感じられることでした。それは、トイレ掃除だけに限らないと思います。どんなことであってもオン・オフの大切さ、切り替えが必要になってきます。今日は改めて今の自分に足りなかったことを気づかせていただきました。

【知ることの大切さ】

参加された先生が「今日の活動の様子をぜひクラスの子どもたちに見せたい」とおっしゃいました。トイレ掃除をさせたいではなく、こんなこともあることを知ってほしいという思いからでした。するしないにかかわらず、知ることの大切さ、そこから感じる気づきや発見もあるのだろうなあと思います。私自身ももっとたくさん知ることに貪欲になりたいなあと思いました。そのためには、頭で考えるのではなく、行動していくことが大切なのではないかなと思います。これからも一步一步周りの方々に支えていただきながら前進していきたいと考えています。

